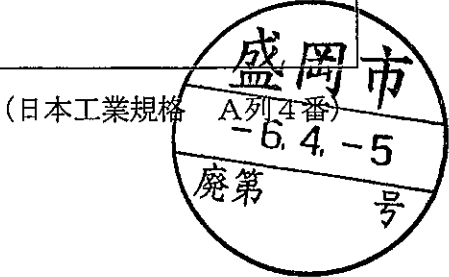


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年4月5日	
盛岡市長 谷藤 裕明 様	
提出者	
住 所 盛岡市東見前1-33-2	
氏 名 盛岡小野田レミコン株式会社	
代表取締役 西川 芳徳	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 019-638-1620	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	盛岡小野田レミコン株式会社
事業場の所在地	盛岡市東見前1-33-2
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21 窯業、土石製品製造業
②事業の規模	507, 869, 348円
③従業員数	15名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	中間処理業者引き取り ↑ (コンクリートくず) 生コン製造→生コン納入→残コン発生→工場固化処理 ↓ (汚泥) 中間処理業者に直接搬入、又は収集・運搬業者に依頼



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

公害防止統括者

公害防止担当者

(廃棄物処理関係)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類

コンクリートくず

汚泥（戻りコンクリート等）

排 出 量

2320.94 t

40.25 t

(これまでに実施した取組)

生コン打設時、施工者と十分打ち合わせを行い、数量を把握し 戻りコンが発生しないように努力しています。排出量のほとんどが納入現場で発生する戻りコン等が占めるので、抑制が難しいのが現状です。

②計画

【目標】 大部分が生産工程で発生しないため目標は立てられない

産業廃棄物の種類

コンクリートくず

汚泥（戻りコンクリート等）

排 出 量

— t

— t

(今後実施する予定の取組)

事前に販売店、生コン打設現場と十分打ち合わせを行い、使用数量の把握をして、余りコン、戻りコンが極力少なくなるようにする。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
分別処理はなし

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
分別処理の予定はなし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 再生利用の実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 戻りコン等から砂、砂利、採石を回収し、再利用する方法を検討したい		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定はなし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定はなし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥（戻りコンクリート等）
	全 処 理 委 託 量	2320.94 t	40.25 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	2320.94 t	40.25 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 岩手県生コン協同組合のリサイクル事業として委託を受けている処理業者、及び生コンの材料である骨材を納入している採石業を営む産業廃棄物処理業者を極力利用している。		

(第5面)

②計画	【目標】 大部分が生産工程で発生しないため目標は立てられない		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥(戻りコンクリート等)
	全処理委託量	未定 t	未定 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	未定 t	未定 t
	再生利用業者への 処理委託量	未定 t	未定 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引き続きゼネコン、生コン販売店とのコンクリート打設の事前打ち合わせを密に行うことで、戻りコン等の発生を抑制する。 2024年度7月以降に発注される物件については戻りコン、残コンを引き取る返品料を生コン協組として再度値上げする予定であり、今後も無駄な納入を抑制し、産廃発生低減に効果がでるように促していく。特に、コンクリート打設現場に対して、設計数量の正確な計算と残業時間を減ずる目的で、打設終盤での追加コンクリートの待ち時間を無くするための廃棄を前提とした多めの注文は控えるようお願いしていく。		
※事務処理欄			